

森林・林業と獣害対策

この記事が掲載される頃には、5期生10名が卒業し、6期生の迎え入れの準備に奔走している時期でしょう。5期生からは、イベントやアルバイトを含め、多くの町民の方々と交流させていただいたという話を聞きました。5期生に代わって、御礼申し上げます。4月には6期生11名が入学する予定です。引き続き、学生を温かく見守ってくださいますと幸いです。

さて、タイトルにもありますように、今回は獣害対策について取り上げたいと思います。日南町のみなさんは、イノシシによる農作物被害に長年苦しめられてきたのではないのでしょうか。実は、全国的にはイノシシよりもシカの方が農作物の被害額は大きくなっています。

鳥取県におけるシカの被害は、これまでは東部を中心に確認されてきましたが、近年では日南町でもシカを見かける機会が多くなり、シカによる被害が懸念されています。シカの被害が顕著な場所では、林内の植物が根こそぎ食べられ、残るのは毒などでシカが食べられない植物ばかりです。当然、人工林にも被害があり、特に植えたばかりの苗木が食べられるな

ど、林業を行う上で大きな課題となつています。

このように、獣害対策はこれからの林業を考える上で必要不可欠であるため、今年度から新たに獣害対策の実習を取り入れることにしました。今後は防鹿柵が設置された植林地をみなさんが見かけることになるかもしれません。農業においても林業においても、侵入防止柵の設置は対処法でしかありません。シカやイノシシの増加によって、希少な動植物が絶滅の危機に瀕することもあります。林業アカデミーでは、狩猟免許の取得もカリキュラムに組み込んでおり、根本的な獣害対策に取り組んでいます。みなさんも獣害対策について関心を持っていただけると幸いです。



防鹿柵の設置研修

【林業アカデミーHPアドレス】 <https://nichinan-ipc.or.jp/forestry/>

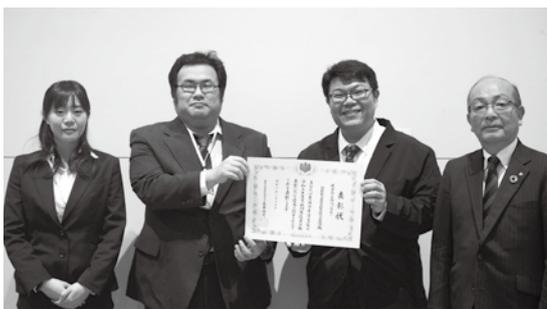
問 にちなん中国山地林業アカデミー TEL 8410070

獣害対策 アップデート 第33回 お知らせ

日野郡鳥獣被害対策協議会
川野 風花
【問合せ】 72-1399

今回のこのコーナーはお知らせです。

まず一つ目。農林水産省が主催する「鳥獣対策優良活動表彰」で日野郡鳥獣被害対策協議会が、農村振興局長賞を受賞しました。



【写真左から】川野・高野・木下・中村町長

表彰の詳細は、農林水産省のホームページをご覧ください。そして、突然のこととなりますが、『鳥獣対策前線』として3年、担当が変わり『獣害対策アップ

デート』として3年、合計6年間続けてきた当コーナーは、今月で最終回となります。というのも、木下チーフとわたくし川野が3月末で退職することになりました。わたくし川野から一言！

「何もわからないまま飛び込んだ日野郡、そして実施隊でしたが、みなさん優しく接してください、本当にたくさんのお話を学ばせていただきました。この日野郡で過ごした3年間は私の宝物です。ありがとうございました」

それでは最後は、木下チーフから一言。

「実施隊が結成されて今年で丸10年。川の上下も分からないような状態の中、実施隊の活動が始まり、暗中模索で進めてきました。今回、農水省の表彰状をいただきましたが、これまでも郡内地域が優良事例として農水省に紹介されたり、農文協DVDに登場したり、実は鳥獣被害対策分野では日野郡は全国的に知られた存在です。それらはみなさんが鳥獣被害対策を頑張ってきた証です。10年間、支え・支えられ、みなさんと歩ませていただき、本当に楽しい日々でした。今後この分野で仕事をしますので、またお会いする機会があるかもしれません。それまでひとまず「さようなら」。本当にありがとうございました」

